

横河電機株式会社
2012年3月期 第3四半期
決算説明会

2012年2月7日

常務執行役員 経営管理本部長 鈴木 周志

1. 欧州金融不安の深刻化、米国景気回復の遅れなどの影響を受け、新興国の成長スピードが鈍化。日本では震災による落ち込みからは回復が見られるものの、円高の長期化やタイ洪水の影響により引き続き景気先行きは不透明な状況。こうした状況下で、中期経営計画を策定してその実現に向けた取り組みをスタートするとともに、従来からの積極的な事業活動を国内外で展開した結果、受注高・売上高は前年同期と比べ増加。売上高の増加に加え、粗利率の改善等により営業利益も増加。

制 御 事 業： 日本市場では、円高の長期化による設備投資意欲の減退などにより市場は不透明な状況で推移。海外市場では、東南アジア、中国、ブラジル、オーストラリアなど新興国・資源国の市場で、エネルギープラントや電力プラントなどの需要が堅調に推移。これらの結果、売上高・営業利益は前年同期と比べ増加。

計測機器事業： 測定器ビジネスでは、年度後半に中国市場で減速感が見られたものの、その他の海外市場が引き続き好調を維持したことなどから市場が堅調に推移。また、半導体テストビジネスでは、メモリ前工程向けテスト分野において顧客に設備投資の動きが見られ、これらビジネスの売上高は増加。しかし事業全体としては、フォトニクスビジネスからの撤退に伴う減収により売上高は減少。営業損益は、構造改革による固定費及び研究開発費の減少などにより、前年同期と比べ損失が減少。

2. 売上高の増加、特別損失の減少等により、四半期純損益が前年同期と比べ改善し黒字化。 (億円)

	FY10 3Q	FY11 3Q	FY10 1Q-3Q	FY11 1Q-3Q
受 注 高	784	752	2,481	2,541
売 上 高	752	757	2,286	2,334
営 業 利 益	8	25	48	94
経 常 利 益	▲1	21	18	63
四 半 期 純 利 益	▲13	5	▲48	12

FY11 3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

	FY10 3Q	FY11 3Q	増減率	差異
受注高	784	752	▲4.1%	▲32
売上高	752	757	0.6%	5
営業利益	8	25	201.0%	17
経常利益	▲1	21	—	22
四半期純利益	▲13	5	—	18

◆受注高は、円高(対USDドル)によるマイナスの影響や、その他事業における連結範囲の変更(国際チャート株式の売却)などの影響により減少(為替影響額:▲27億円)

◆売上高は、その他事業が減収となったものの、制御事業が円高の影響を受けながらも増収となったことから微増(為替影響額:▲28億円)

◆売上高の増加及び粗利率の改善などにより営業利益が増加。この結果、四半期純損益が黒字化。

FY11 1Q-3Q 経営成績(対前年同期比)

(億円)

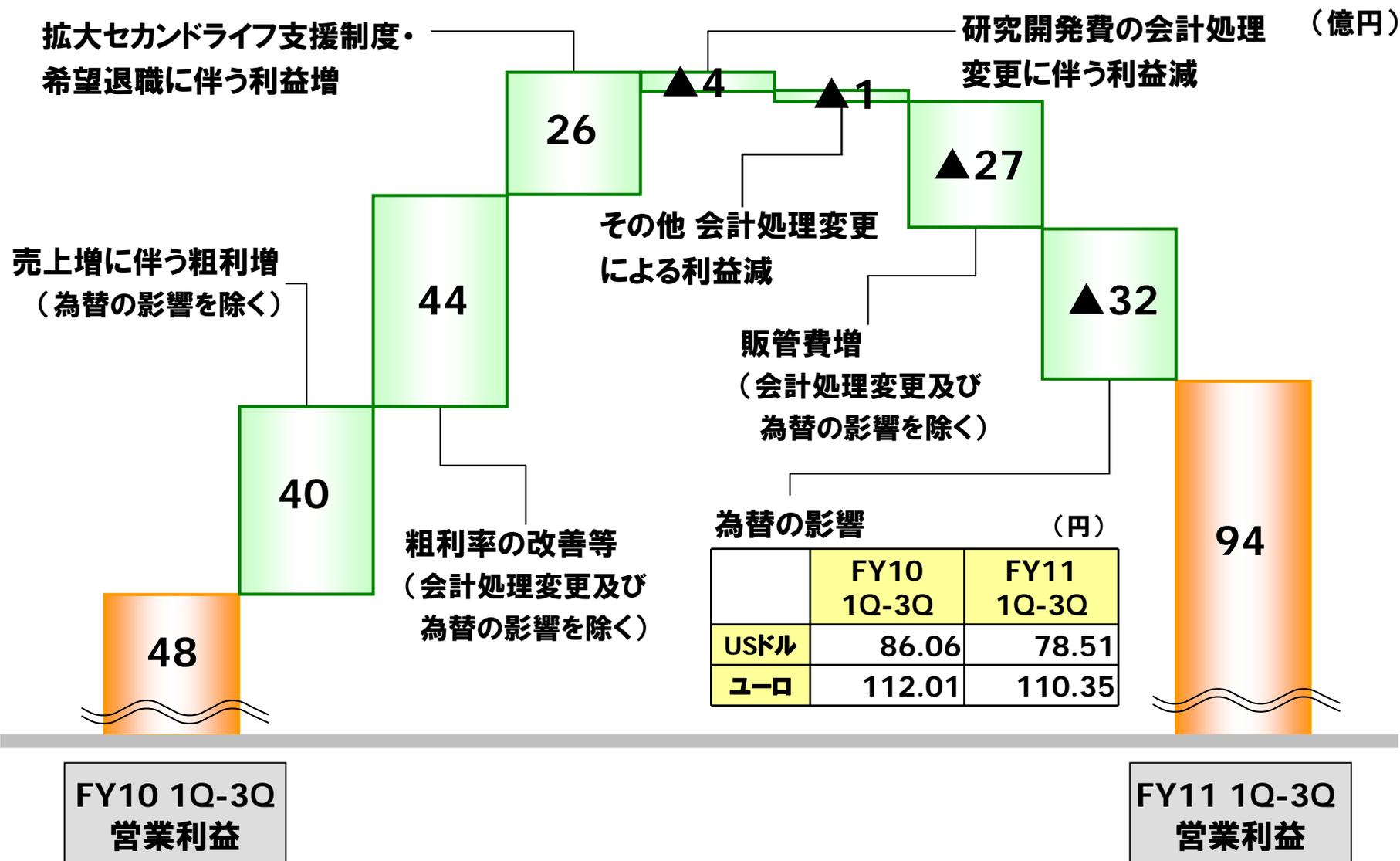
		FY10 1Q-3Q	FY11 1Q-3Q	増減率	差異
受注高		2,481	2,541	2.4%	60
売上高		2,286	2,334	2.1%	48
営業利益		48	94	94.9%	46
経常利益		18	63	244.5%	45
四半期純利益		▲48	12	—	60
為替レート	1\$= 1€=	86.06円 112.01円	78.51円 110.35円	—	▲7.55円 ▲1.66円

◆円高(対USドル)によるマイナスの影響を受けながらも、制御事業の海外市場を中心に受注高、売上高とも増加(為替影響額:受注高▲76億円 売上高▲67億円)

◆円高(対USドル)によるマイナスの影響や販管費の増加などの減益要因があったものの、売上高の増加及び粗利率の改善により営業利益が増加

◆四半期純損益が、事業構造改善費用26億円の特別損失等により赤字を計上した前年同期から改善し黒字化

FY11 1Q-3Q 営業利益分析(対前年同期比)



FY11 1Q-3Q 営業外・特別損益

(億円)

	FY10 1Q-3Q 実績	FY11 1Q-3Q 実績
営業利益	48	94
営業外収益	22	20
営業外費用	52	51
経常利益	18	63
特別利益	4	1
特別損失	35	11
税引前利益	▲13	53
法人税等	35	41
四半期純利益	▲48	12

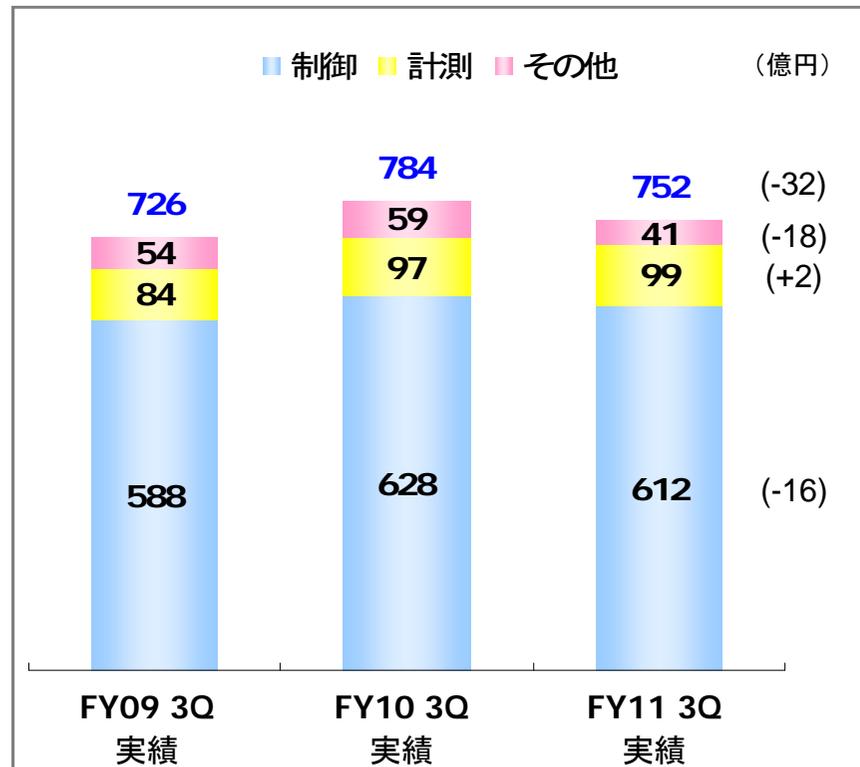
支払利息:20億円
為替差損:11億円

事業構造改善費用:
7億円

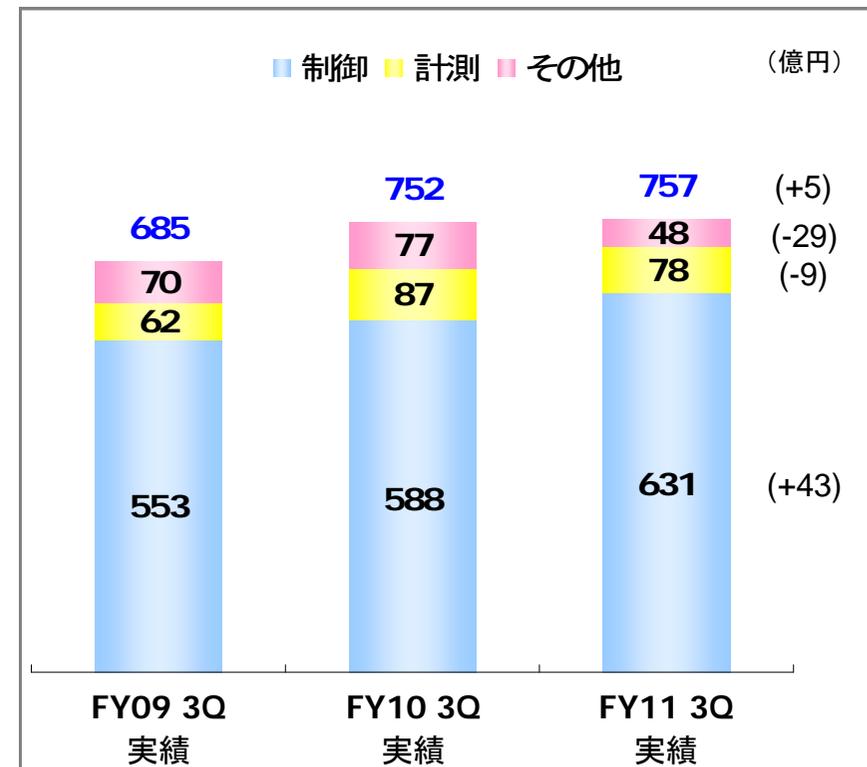
- ◆事業構造改善費用26億円を計上した前年同期と比較し特別損失が減少
- ◆海外関係会社における課税所得が増加したことから法人税等が前年同期と比較し増加

FY11 3Q セグメント別 受注・売上

受注高



売上高

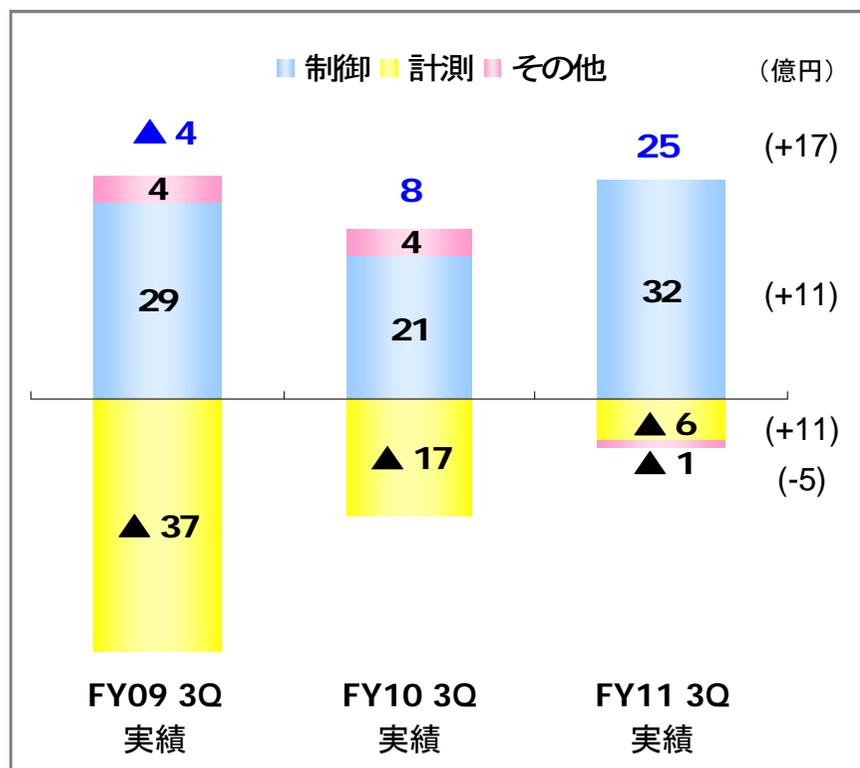


◆**制御事業**: 海外市場でエネルギープラントや電力プラントの需要が堅調に推移している状況に変化はないものの、大型ジョブの計上が少なかったこと及び円高(対USDドル)の影響により、受注高が減少。売上高は円高の影響を受けながらも増加(為替影響額: 受注高▲26億円 売上高▲26億円)

◆**その他事業**: 連結範囲の変更、前年同期に航空船用機器ビジネスの大口受注があったことなどから、受注高・売上高が減少

FY11 3Q セグメント別 営業利益

営業利益



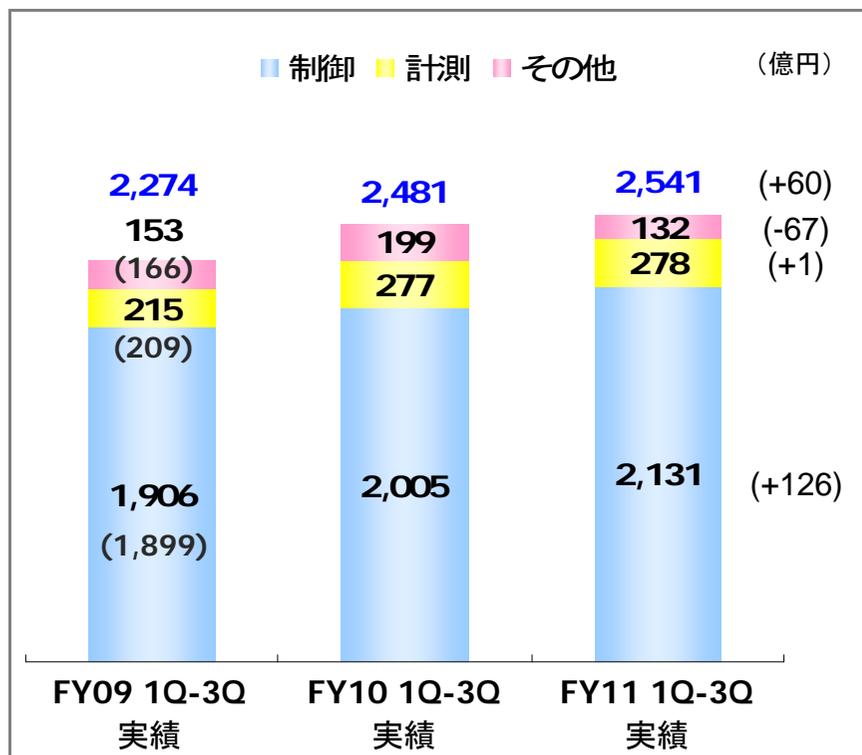
(億円)

	FY10 3Q 実績	FY11 3Q 実績	差異
制御	21	32	11
計測	▲ 17	▲ 6	11
その他	4	▲ 1	▲ 5
合計	8	25	17

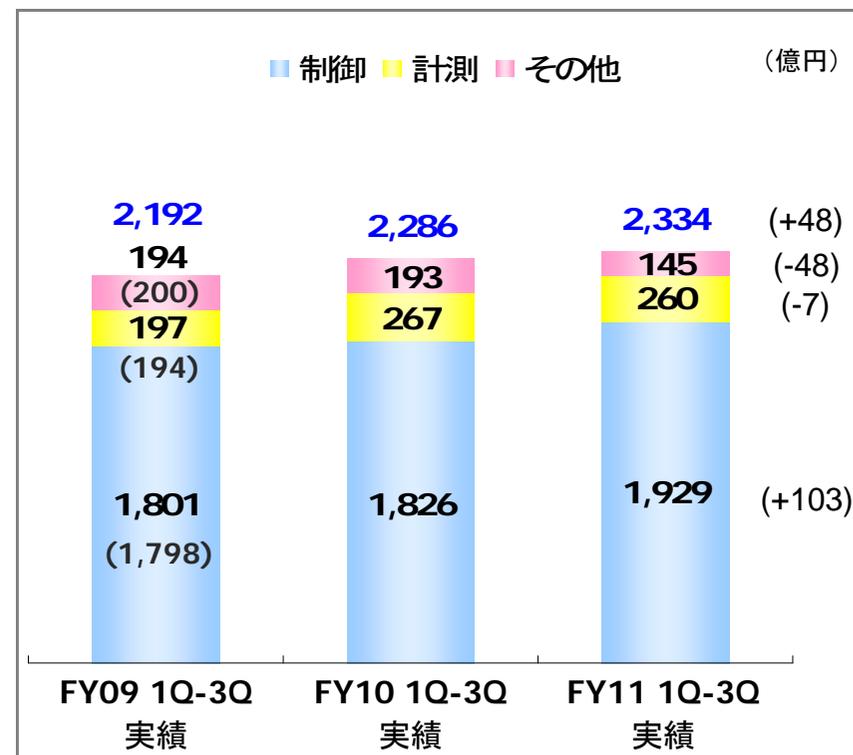
- ◆ 制御事業: 増収に加え、自社製品比率の上昇及び物量増による粗利率改善により営業利益が増加
- ◆ 計測機器事業: 構造改革による固定費及び研究開発費の圧縮により、前年同期と比べ営業損失が減少
- ◆ その他事業: 売上高の減少により、営業損失を計上

FY11 1Q-3Q セグメント別 受注・売上

受注高



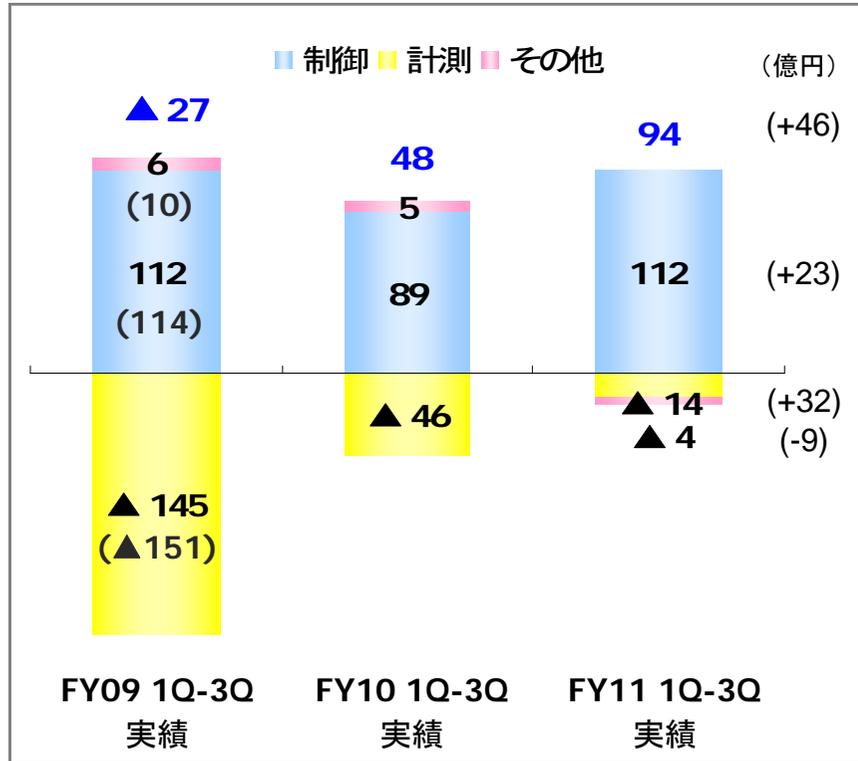
売上高



- ◆制御事業：海外市場でエネルギープラントや電力プラントの需要が堅調に推移し、円高(対USD)によるマイナスの影響を受けながらも受注高・売上高とも増加(為替影響額：受注高▲70億円 売上高▲62億円)
- ◆計測機器事業：測定器ビジネス、半導体テストビジネスの増収(測定器：受注高6億円増 売上高10億円増 半導体テスト：受注高22億円増 売上高9億円増)があったものの、事業撤退を決めたフォトニクスビジネスで受注高・売上高が減少したことから、前年同期と比べ受注高は横ばい、売上高は減少
- ◆その他事業：連結範囲の変更、前年同期に航空船用機器ビジネスの大口受注があったことなどから、受注高・売上高が減少

FY11 1Q-3Q セグメント別 営業利益

営業利益



(億円)

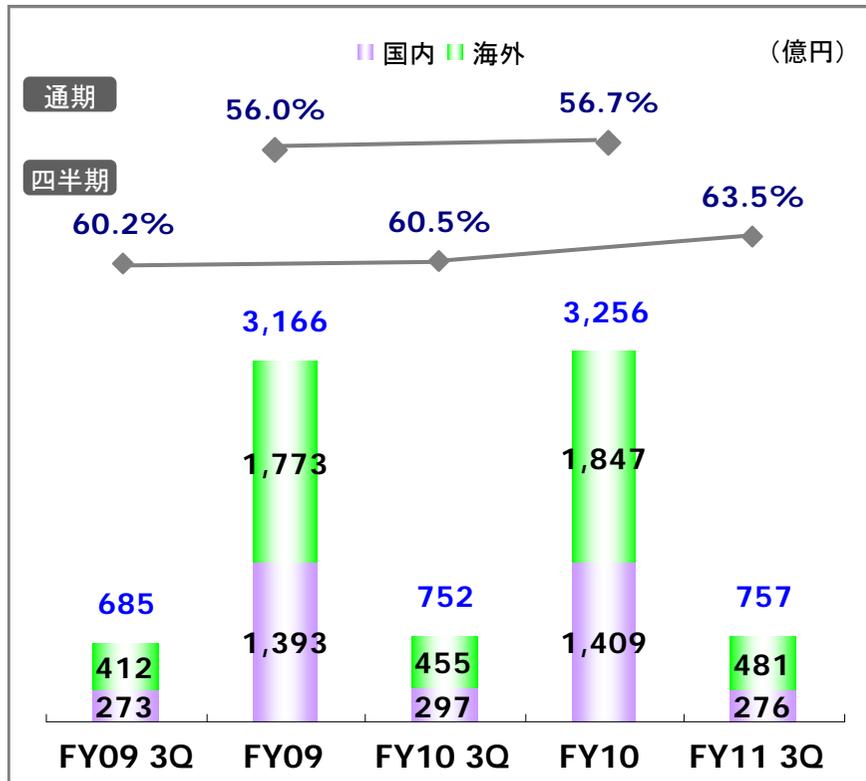
	FY10 1Q-3Q 実績	FY11 1Q-3Q 実績	差異
制御	89	112	23
計測	▲46	▲14	32
その他	5	▲4	▲9
合計	48	94	46

※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY09()内の数値は集計方法変更前の数値です。

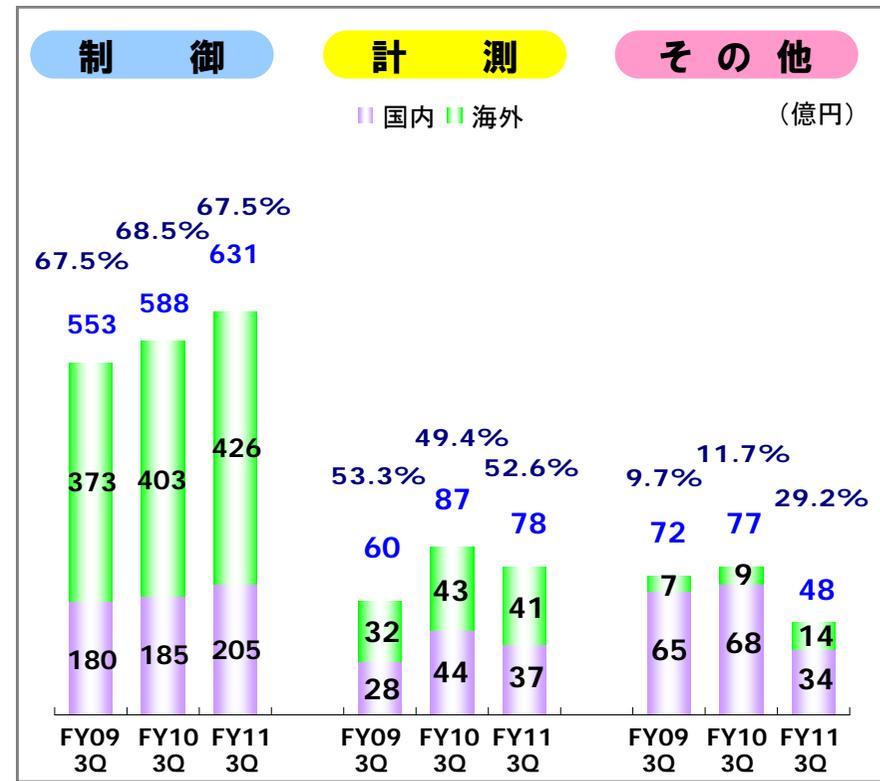
- ◆制御事業:増収に加え、自社製品比率の上昇及び物量増による粗利率改善により営業利益が増加
- ◆計測機器事業:構造改革による固定費及び研究開発費の圧縮により、前年同期と比べ営業損失が減少
- ◆その他事業:売上高の減少により、営業損失を計上

海外売上高

全社



セグメント別



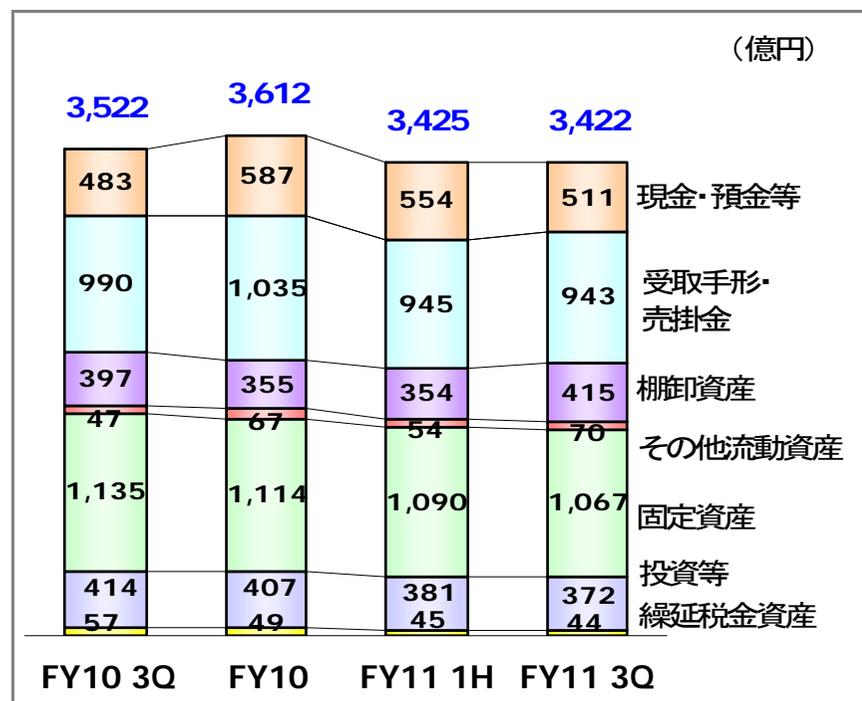
※FY09の実績はセグメント集計方法変更前の数値です。

◆計測機器事業、その他事業で海外売上高比率が拡大したことから、前年同期と比べ海外売上高比率が上昇

◆制御事業の国内売上が増加したことから、同事業の海外売上高比率は前年同期と比べ低下

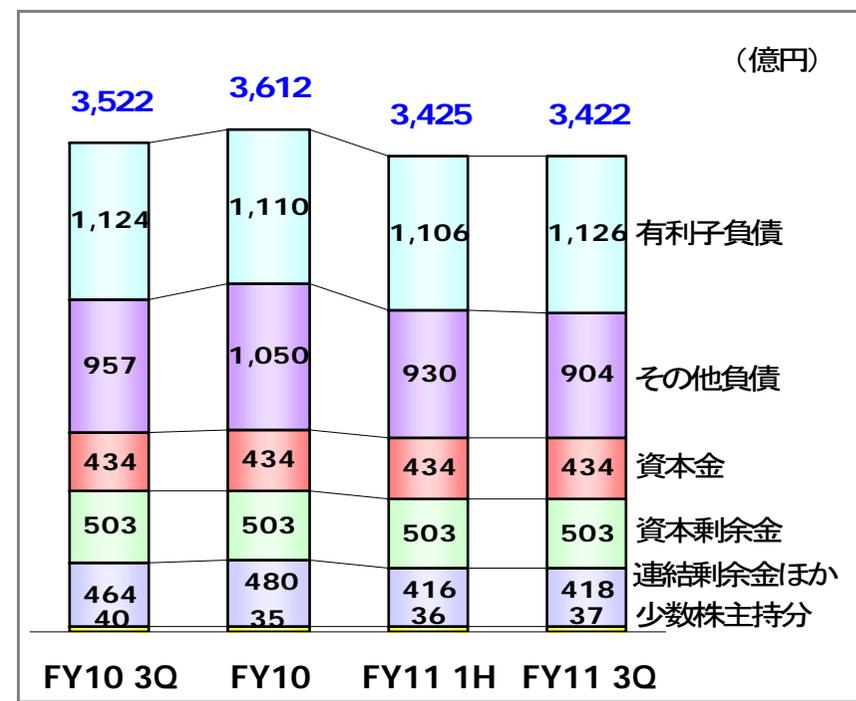
貸借対照表

資産



	FY10 3Q	FY10	FY11 1H	FY11 3Q
総資産回転率	-	0.86	0.94	-
自己資本比率	39.8%	39.2%	39.5%	39.6%

負債・資本

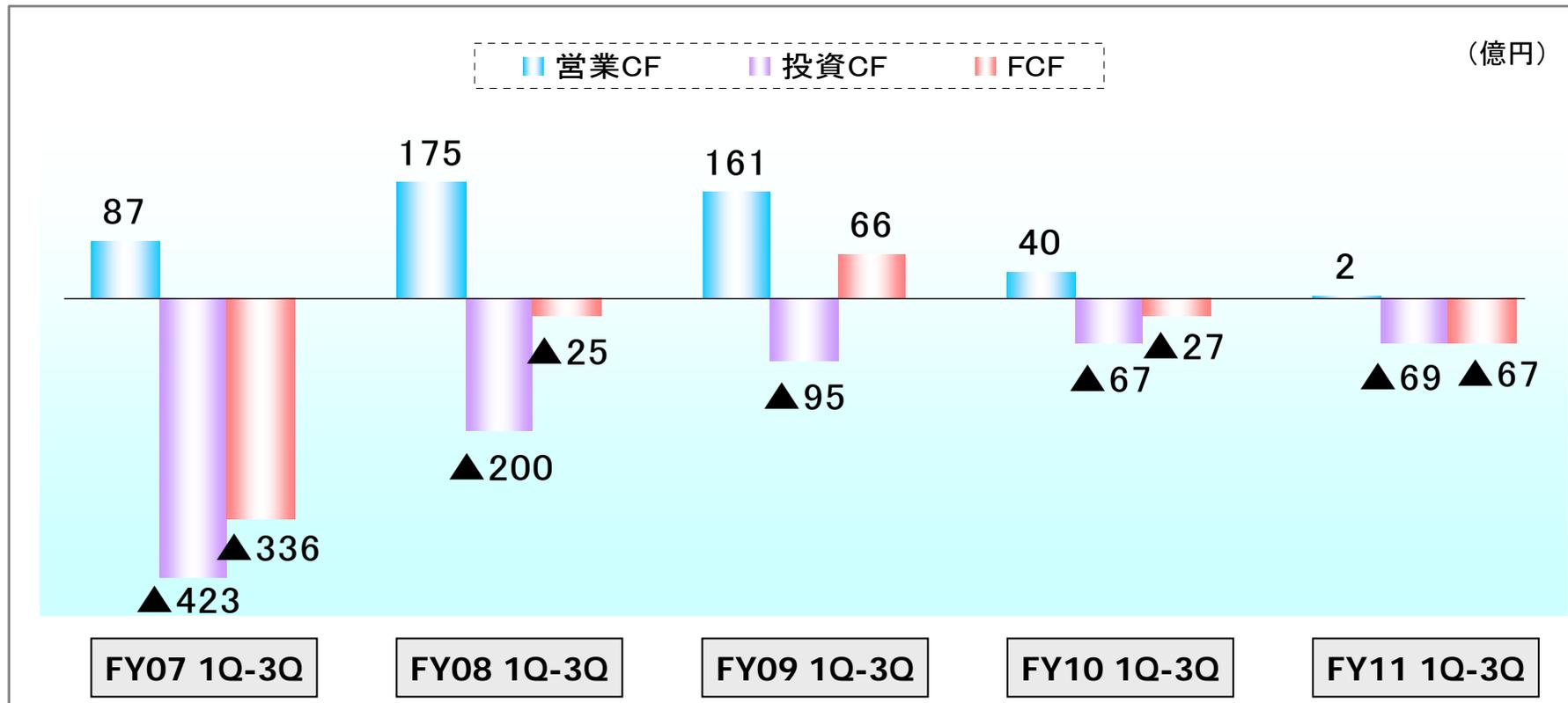


	FY10 3Q	FY10	FY11 1H	FY11 3Q
D/Eレシオ	80.2%	78.3%	81.7%	83.1%
有利子負債比率	31.9%	30.7%	32.3%	32.9%

◆当期売上予定の製品、仕掛品の増加により、棚卸資産が1H末に比べ増加

◆従業員に対する確定拠出年金分割精算金の支払いにより、その他負債が1H末に比べ減少

キャッシュ・フロー



◆売掛債権流動化に伴う収入が前年同期と比べ減少したこと、及び希望退職募集に伴う特別退職金等の支払い(34億円)による支出増などにより、営業キャッシュ・フローが減少

FY11 経営計画

(億円)

	FY10 実績(A)	FY11 計画(8/9)(B)	FY11 計画(11/8)(C)	前年比 (C-A)	当初計画比 (C-B)
受注高	3,341	3,550	3,560	219	10
売上高	3,256	3,330	3,360	104	30
営業利益	111	130	150	39	20
経常利益	86	100	120	34	20
当期純利益	▲67	50	60	127	10
為替レート	1\$= 1€=	85.13円 112.45円	80.00円 110.00円	▲8.13円 ▲7.45円	▲3.00円 ▲5.00円

◆通期計画については11/8発表の計画から変更なし

四半期別 経営成績・計画

(億円)

	FY10				FY11				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通期計画
受注高	880	817	784	860	950	840	752	1,019	3,560
売上高	662	871	752	971	700	878	757	1,026	3,360
営業利益	▲6	45	8	64	5	63	25	56	150

FY11 営業外損益・特別損益計画

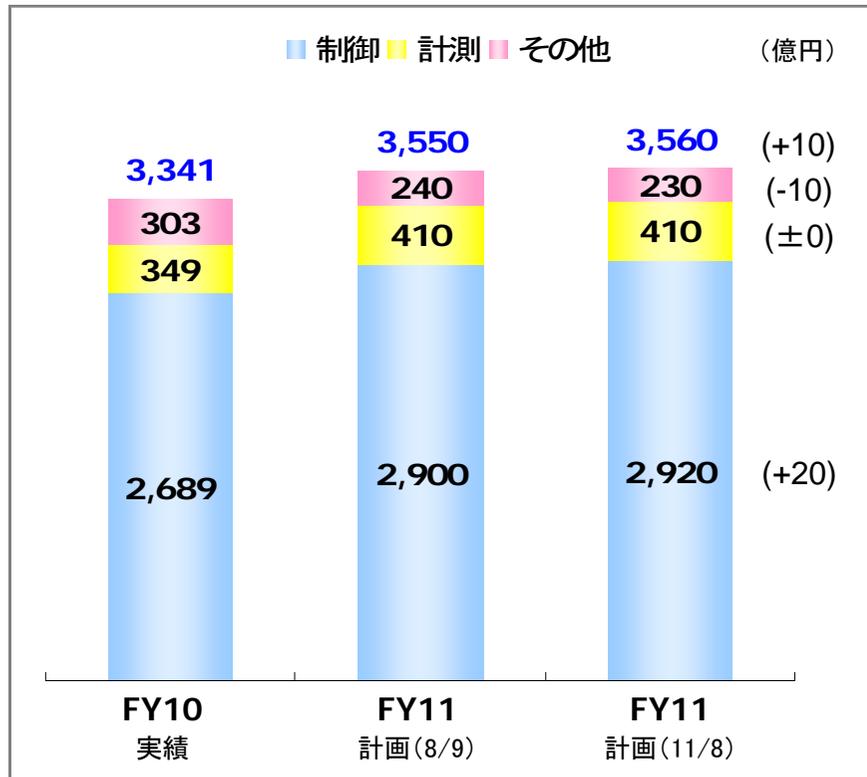
(億円)

	FY10 実績	FY11 計画(8/9)	FY11 計画(11/8)
営業利益	111	130	150
営業外収益	37	▲30	▲30
営業外費用	62		
経常利益	86	100	120
特別利益	15	▲10	▲10
特別損失	111		
税引前利益	▲10	90	110
法人税等	57	40	50
当期純利益	▲67	50	60

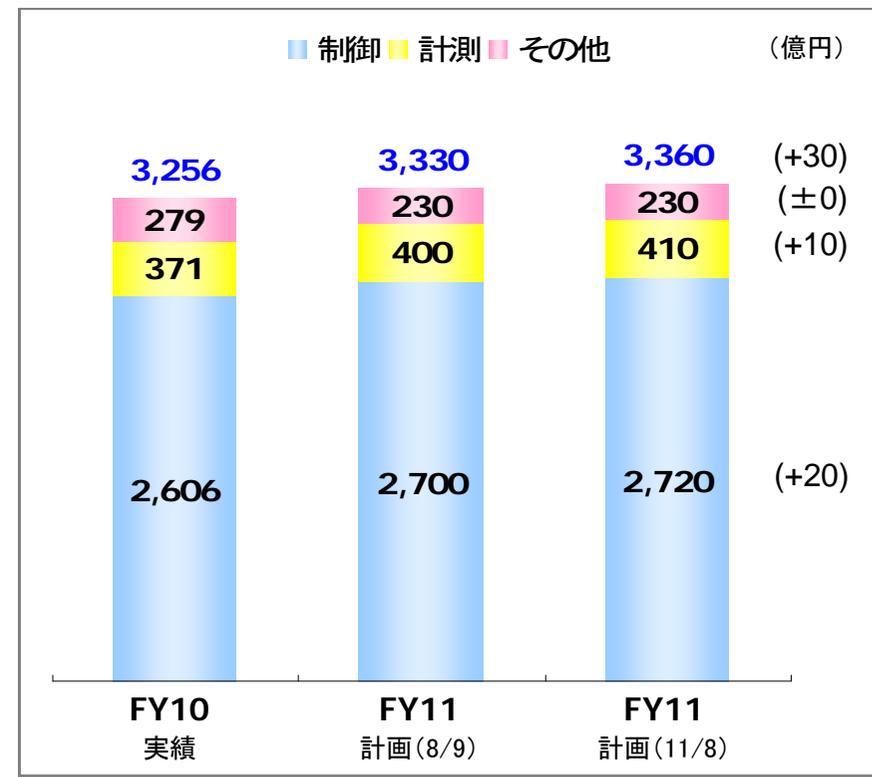
◆通期計画については11/8発表の計画から変更なし

FY11 セグメント別 受注・売上 計画

受注高



売上高

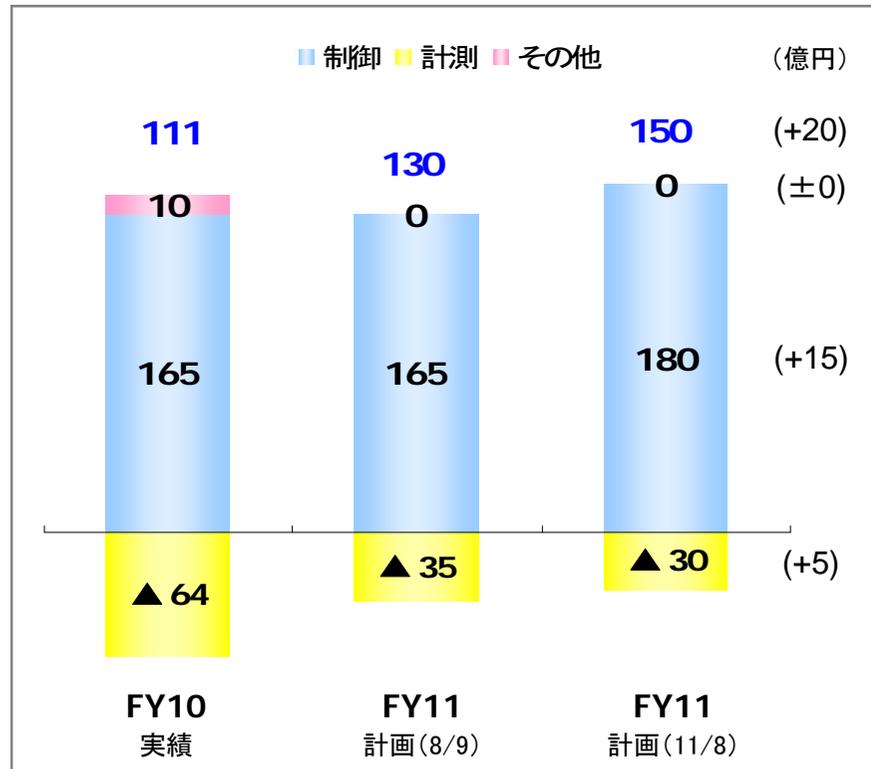


◆通期計画については11/8発表の計画から変更なし

FY11 セグメント別 営業利益 計画

営業利益

(億円)

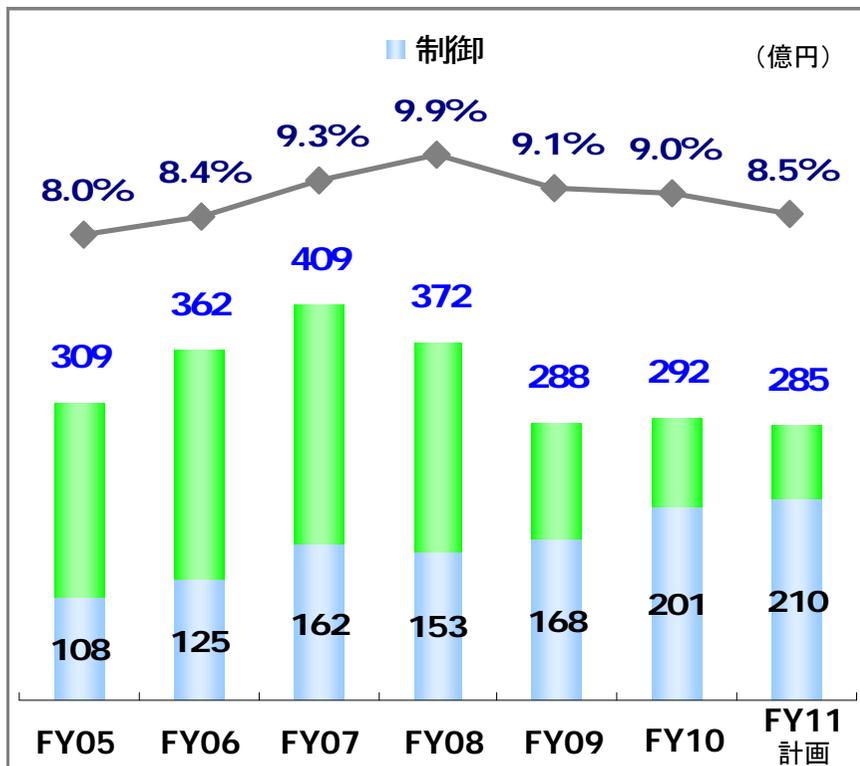


	FY11 計画 (8/9)	FY11 計画 (11/8)	差異
制御	165	180	15
計測	▲35	▲30	5
その他	0	0	0
合計	130	150	20

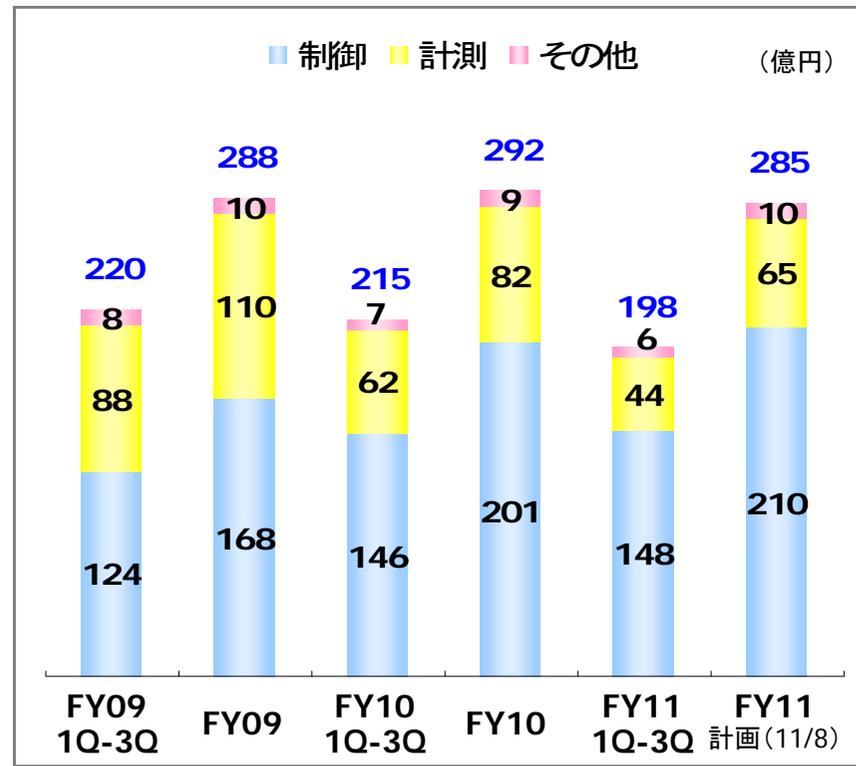
◆通期計画については11/8発表の計画から変更なし

研究開発費

全社

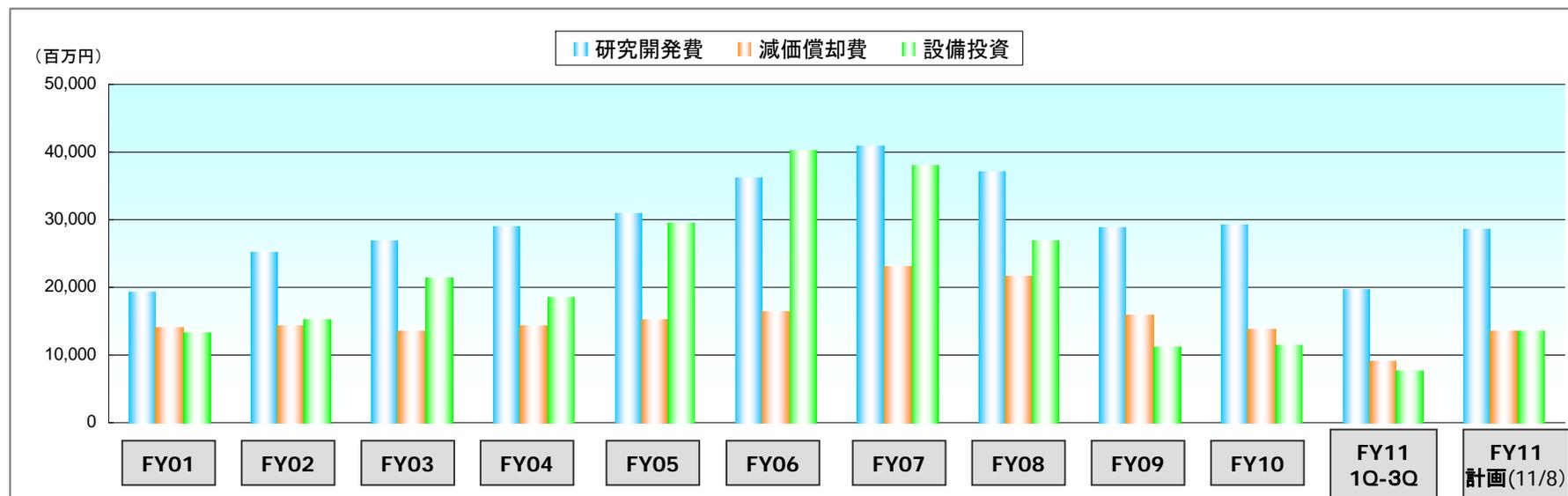


セグメント別



◆研究開発費については11/8発表の計画から変更なし

研究開発費・減価償却費・設備投資



(百万円)

	FY01	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11 1Q-3Q	FY11 計画(11/8)
研究開発費 (対売上比)	19,236 6.2%	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	37,229 9.9%	28,786 9.1%	29,179 9.0%	19,801 8.5%	28,500 8.5%
減価償却費 (対売上比)	13,964 4.5%	14,298 4.3%	13,455 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	21,615 5.7%	16,033 5.1%	13,836 4.2%	8,944 3.8%	13,500 4.0%
設備投資 (対売上比)	13,347 4.3%	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	26,813 7.1%	11,125 3.5%	11,337 3.5%	7,646 3.3%	13,500 4.0%

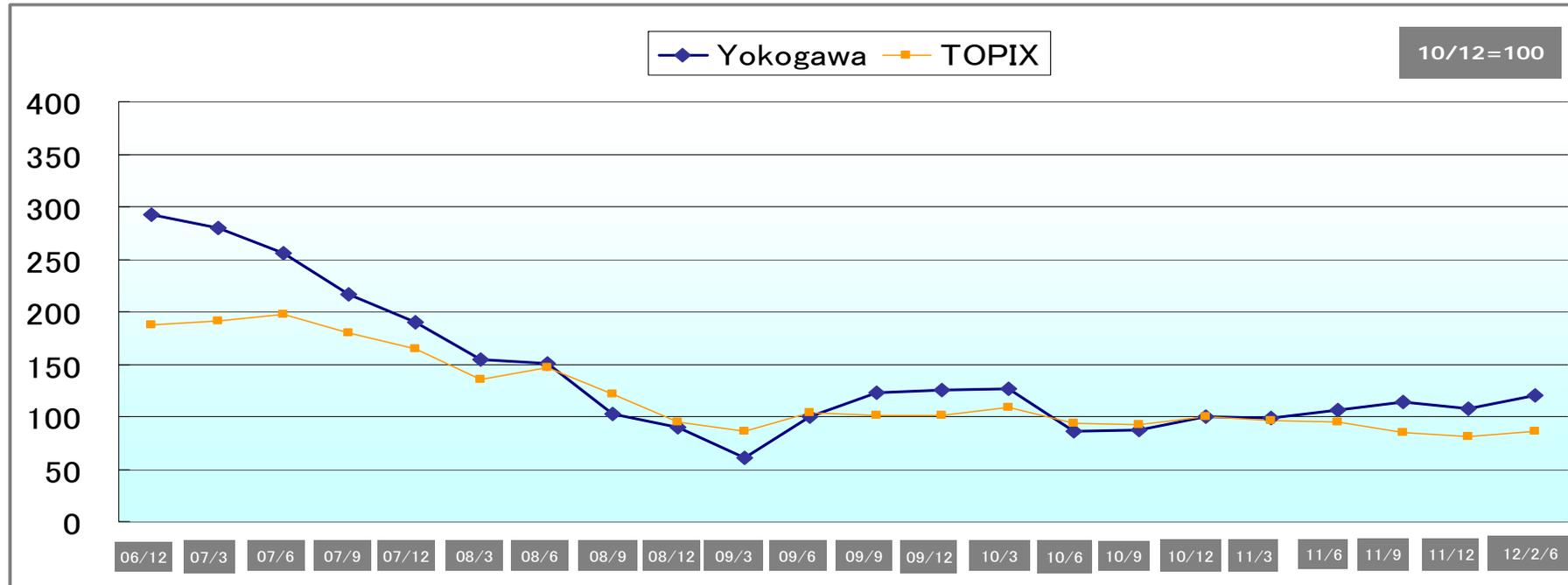
◆研究開発費・減価償却費・設備投資計画については、11/8発表の計画から変更なし

(円. 銭)

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
平成23年3月期	0.00	0.00	0.00
平成24年3月期	0.00	—	—
平成24年3月期(予想)	—	5.00	5.00

◆通期業績計画、事業構造改革の進捗、財務状況等を総合的に勘案し、未定だった期末配当予想を1株当たり5円に修正

株価の状況



	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/2/6
Yokogawa	1,887	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	568	646	634	683	740	695	777
TOPIX	1,681	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	830	899	869	849	761	729	770

	06/12	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/2/6
Yokogawa	292	280	256	216	190	154	150	102	90	61	101	123	126	126	86	88	100	98	106	115	108	120
TOPIX	187	191	197	180	164	135	147	121	96	86	103	101	101	109	94	92	100	97	94	85	81	86

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。